

2024年2月5日
日本生命保険相互会社

自然資本に係る国際的なイニシアティブ「Spring」への加盟について

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）は、企業との対話を通じて生物多様性の喪失を食い止め、回復軌道に乗せることを目指す国際的なイニシアティブである「Spring」（以下「当イニシアティブ」）に加盟しました。

近年、経済活動の拡大によって自然破壊や生物の生息環境の悪化が進む中、自然資本・生物多様性の喪失を食い止め、回復軌道に乗せる“ネイチャーポジティブ（自然再興）”の重要性が国際的に高まっており、民間企業等の取り組み拡大・進展も期待されています。

当イニシアティブは、昨年、東京で開催された、PRI（国連責任投資原則）の年次カンファレンス「PRI in Person 2023」で設立が発表されました。今後、署名機関の中から投資家メンバーを募り、森林破壊や土地劣化等の自然資本の課題に関して、国内外の投資先企業に対して協働エンゲージメントを行う予定です。*

※ 加盟形態には、対象企業への協働エンゲージメントを行う「Participant」と、イニシアティブの目的と戦略への支持を示し、発展に寄与する「Endorser」があり、当社は「Endorser」として加盟。

当社グループは、安心・安全で持続可能な社会の実現への貢献を通じた企業価値向上を目指し、あらゆる事業活動においてサステナビリティ経営を推進しています。その中でも「人」「地域社会」「地球環境」の3つを重点領域と定め、「地球環境」の領域においては、“豊かな地球環境を未来につなぐ”ことを重要課題として掲げ、気候変動や自然資本・生物多様性の問題、循環型社会への対応等に取り組んでいます。

今後も、自然資本・生物多様性の保全に関する取り組みや投資先企業との対話をより一層進め、ネイチャーポジティブの実現に貢献してまいります。

以上

2023-3571G, 広報部